

# 新地区補助金の概要

(2013-14年度導入準備用)



# 新地区補助金の特徴

- 年に一度、一括して地区に支給される。
- 教育的プロジェクト、建築など幅広いプロジェクトに利用できる。
- 2年の業務サイクル
- 1年以内の比較的短期・小規模の活動に使用



# (現行の)地区補助金とのおおまかな相違点

	(現行)地区補助金	新地区補助金
業務サイクル	単年度	2年度
補助金額上限	DDF(地区活動資金)の20% まで	DDFの50%まで
財団への申請	随時	1回/1年度
使用できる用途	人道的プロジェクトのみ  国際旅費不可、 建築への利用不可。	奉仕プロジェクト全般 (ボランティア渡航費を含む。 建築に利用可。) +教育的プロジェクト (奨学金、 職業研修チーム)
未使用残高	財団へ返還	一旦財団へ戻り、DDFで地区 に返還される。使用されなけ れば翌年度に繰越。



# 新地区補助金の活動例①

このようなプロジェクトにご利用いただけます。

- 様々な職業人からなる職業研修チームの派遣・受入・交換（国内外）
- 地元の医師を海外の診療所にボランティアとして派遣する
- 地元あるいは海外の大学に留学するための奨学金を授与
- 青少年のための放課後プログラムに美術道具を寄贈
- 他地区で発生した自然災害に応え、シェルターボックスのコンテナを寄贈



# 新地区補助金の活動例②

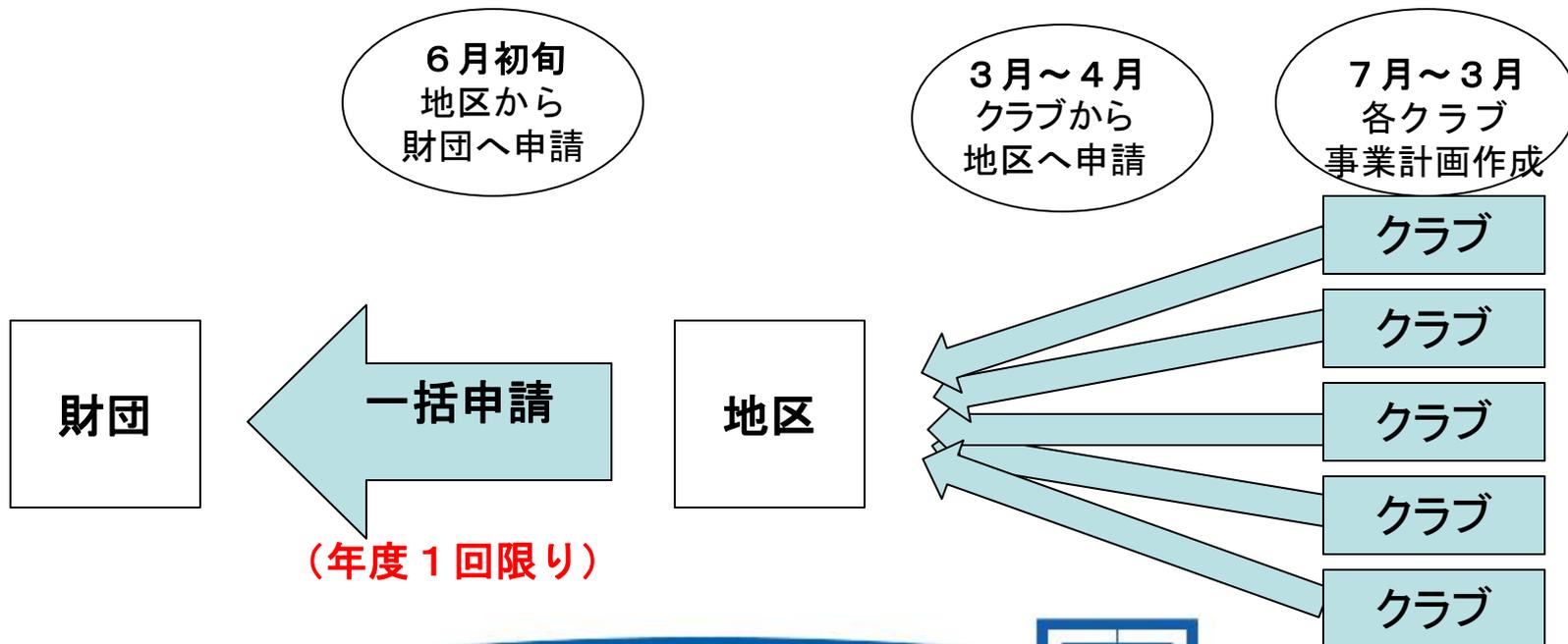
プロジェクト概要	補助金額	補助金額 (円)
恵まれない環境にある青少年のための放課後プログラム	\$750	約60,000円
アルゼンチンの医療関係者が米国で研修を受けられるようにした	\$9,000	約720,000円
水の塩素処理システム設置	\$4,250	約340,000円
乳幼児の心肺機能蘇生法に関する資料提供	\$2,500	約200,000円
学校に調理器具を提供	\$3,200	約256,000円
森林再生プロジェクトを実施し、貧しい人々が収入を得る機会を創出	\$17,600	約1,408,000円



# 新地区補助金の手続き①

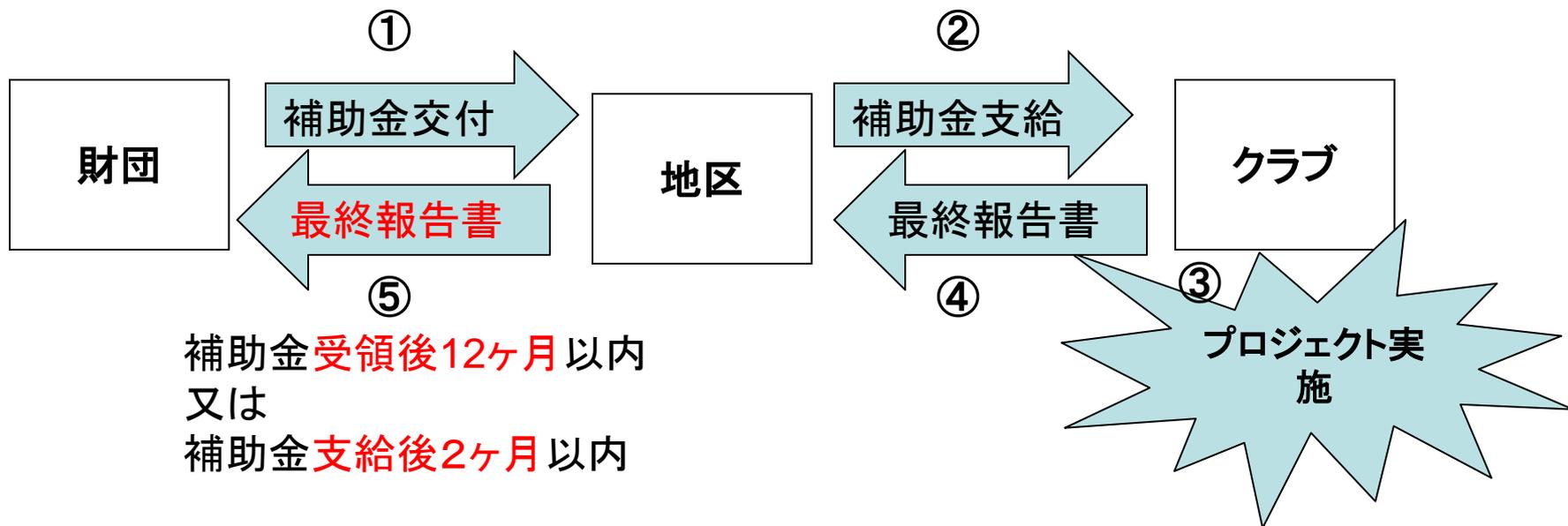
◎計画年度・実行年度の2年度にわたる業務サイクル

<計画年度>



# 新地区補助金の手続き②

<実行年度>



# 最終報告書の重要性

- ★ 未完了の補助金プロジェクト(種類を問わない)は1地区あたり9件までに制限されているため、実行後速やかに報告書をご提出いただき、プロジェクトを完了させて下さい。



# 導入への準備(2012-2013年度)

- パイロット地区  
(D2580/D2650/D2690/D2760/D2770/D2830)  
から運営上の情報を収集
- 年間スケジュールをあらかじめ計画しておく。
- 業務サイクルを勘案して委員会・任期を構案



ご清聴ありがとうございました。

[kawada@wellbe-co.jp](mailto:kawada@wellbe-co.jp)

2011-12年度

第2660地区 FVP委員会 委員

地区人道的補助金委員会 委員長

川田 隆

